



小野田中は、学校・家庭・地域で、子どもの成長を応援します！

小中だより

山陽小野田市立小野田中学校

TEL 83-2576

FAX 83-2838

特別号 令和4年11月28日(月)

Webページ <http://www.edu.cty-so.jp/onoda-jhs/>

《校訓》 健康明朗 清潔整頓 勤勉努力 自主自律
《学校教育目標》 「地域とともに、心豊かで学び続ける生徒の育成」

令和4年度全国学力・学習状況調査（生徒質問紙編）

前号は、令和4年度の「全国学力・学習状況調査」の小野田中学校の学力の傾向についてお知らせしました。本号では、生徒質問紙の状況についてお知らせします。生徒質問紙は、生徒の学習意欲・学習方法・学習環境・家庭や地域での生活の状況に関する調査です。

4月時点での調査ですから、状況がかなり変わっている項目もあるかもしれませんが、山口県や全国と比較した本校生徒の特徴を以下に示します。

1 山口県全体の状況

【よかった項目】

《生徒の意識》

○ 友達と協力するのは楽しいと思う生徒や読書が好きな生徒の割合は、全国と比べて高いです。

《学習習慣・ICT》

○ 授業で、コンピューターなどのICT機器を使用した割合は、全国と比べて高く、小学校、中学校ともに増加傾向にあります。

《地域との関わり》

○ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある生徒の割合は、全国と比べて高いです。

《学びに向かう姿勢・授業》

○ 授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと思う生徒の割合は、全国と比べて高いです。

【課題の見られた項目】

《学習習慣・ICT》

● 自分で計画を立てて勉強する生徒の割合は減少傾向にあり、小学校は、全国に比べて低いです。

● 学校の授業時間以外の、普段1日当たりの勉強時間は、小学校、中学校ともに減少傾向にあり、全国と比べて低いです。

《学びに向かう姿勢・授業》

● 授業で、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ小学生の割合は、全国と比べて低いです。

2 小野田中学校の状況

◎：肯定的な回答が多い ▲：課題がある

① 主体的・対話的で深い学びの視点からの学習への取組状況

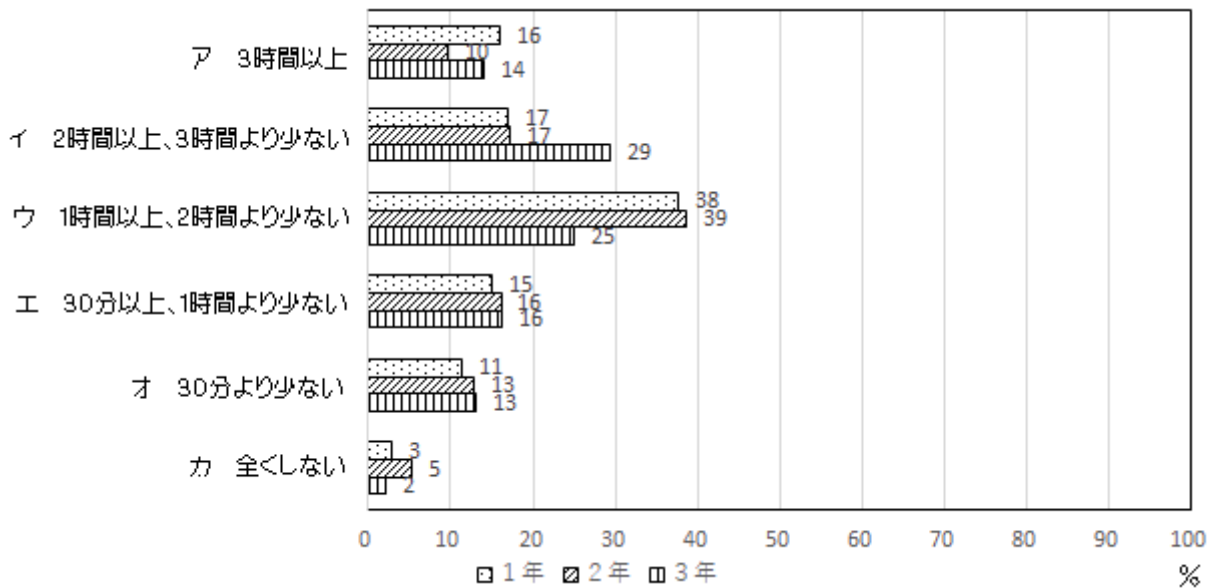
▲ 国語の勉強は好きですか。	<55%> …県64%、全国62%
◎ 国語の勉強は大切だと思いますか。	<97%> …県94%、全国93%
◎ 数学の勉強は好きですか。	<65%> …県61%、全国58%
▲ 数学の勉強は大切だと思いますか。	<86%> …県89%、全国87%
◎ 理科の勉強は好きですか。	<86%> …県71%、全国66%
◎ 理科の勉強は大切だと思いますか。	<87%> …県80%、全国77%

授業での学習への取組については、国語はあまり「好き」ではないが、「大切」だとは思っている。数学は「好き」だが、あまり「大切」とは思わない。という、相反した結果となっています。理科は、「好き」であり「大切」という肯定的な回答が多かったです。今後、生徒が意欲的に取り組んでいけるように、授業改善をしていきたいと思えます。

② 家庭学習への取組について

〈小野田中学校独自の生活アンケート（7月実施）より〉

▲ 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）



本校の学力の課題は、家庭学習が十分ではないということです。全国学力・学習状況調査では、2時間以上学習する生徒の割合は県よりは多いですが、全国に比べて少ない傾向にあります。家庭学習に積極的に取り組み、授業で学習したことが、しっかり定着するようにしてほしいと思います。

③ 自己有用感や規範意識の状況

◎ 自分には、よいところがあると思いますか。	〈84%〉 …県80%、全国79%
◎ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	〈97%〉 …県96%、全国95%
◎ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていいと思いますか。	〈94%〉 …県90%、全国87%
◎ 将来の夢や目標を持っていますか。	〈72%〉 …県70%、全国67%
◎ いじめは、どんな理由があってもいけないと思いますか。	〈99%〉 …県97%、全国96%

「自分には、よいところがある。」「人の役に立つ人間になりたい。」では、県や全国よりやや肯定的な回答の割合が高く、自己有用感が高いことがうかがえます。また、「先生は、よいところを認めてくれる。」「将来の夢や目標を持っている。」は、県や全国に比べて肯定的な回答の割合が高いです。「いじめは、どんな理由があってもいけない。」の割合が100%になっていないということは、わずかにいじめを容認する考えの生徒がいるということですから、今後人権教育に力をいれていきたいと思います。

④ 地域や社会に関する興味・関心の状況

◎ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。	〈52%〉 …県48%、全国40%
▲ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えますか。	〈39%〉 …県46%、全国41%

コミュニティー・スクールや地域協育ネットの取組により、地域での行事に参加している生徒の割合は高いです。しかし地域や社会の問題や出来事への関心に肯定的な回答をした生徒の割合は、県や全国に比べて低いです。地域の行事に参加するだけでなく、自分たちが関わることで、地域や社会をどう活性化していくかにも目を向け、学校と地域のつながりを深め、「地域とともに 心豊かで学び続ける生徒」を目指してほしいと思います。

今年度の結果を検証・改善し、実施教科だけでなく、全教科で「課題解決に向けた授業改善」や、GIGAスクール構想による、ICT機器を効果的に活用した「主体的・対話的で深い学び」による学力向上、生活改善に努めていきたいです。